

2017



《対象期間2017年1月～2017年12月》

◆環境方針

1. 組織の概要
2. 認証・登録の範囲
3. 体制図及び認証登録範囲図
《体制図》《責任と役割及び権限》
4. 環境目標とその実績
5. 期間1年間の目標及び取組結果の評価
 - ①環境目標及びその達成状況
 - ②環境活動計画の取組結果とその評価・次年度の取組内容
 - ③期間における全体評価
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認
及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無



株式会社**REC**

〒116-0013

東京都荒川区西日暮里

2-22-3

電話 : 03-3803-2400

FAX : 03-3803-2552

発行日 2018年2月1日

環 境 方 針

【基本理念】

株式会社 REC は、お客様に安全とより良い環境を提供すると共に
私たちが携わる仕事の中で、環境に配慮したシステムの提案、施工方法の構築と
地球環境問題を自社の課題と認識し、取り組んでいる環境設備企業です。
下記の行動指針に基づき従業員が環境活動に積極的に取り組むと共に
継続的改善を実施します。

【行動指針】

1. 設備工事を通して、環境負荷の低減に向けて組織的に取り組みます。
2. 環境を配慮した工法を提案します。
3. 環境関連法規等を遵守します。
4. 環境方針を文書化し、従業員に周知徹底します。
5. 環境への取り組みを環境活動レポートにして公表します。



【改定日】2017年 2月 1日

株式会社 REC

代表取締役社長

有明芳男

1. 組織の概要

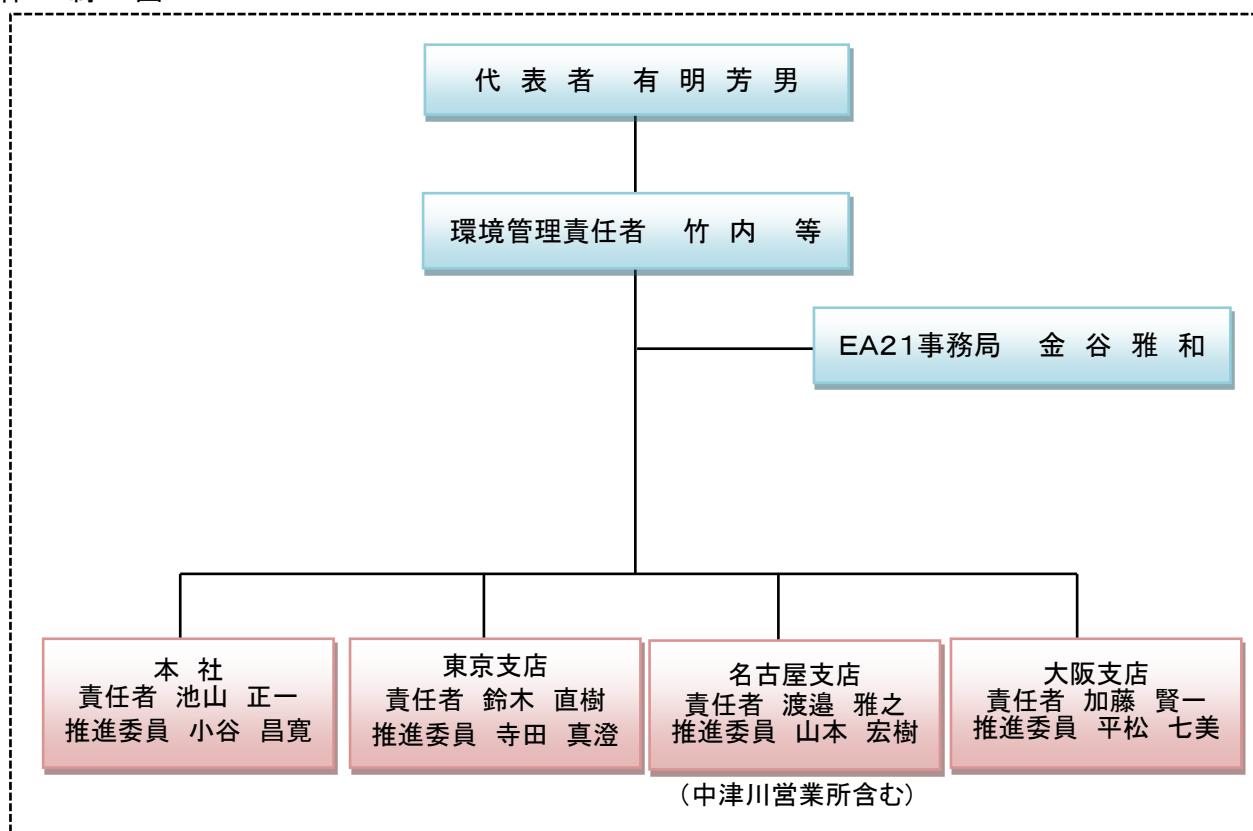
- 《事業者名称》 株式会社 REC
- 《代表者》 代表取締役社長 有明 芳 男
- 《所在地》
- ◆ 本 社 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-3
ステーションプラザタワーアネックスウエスト
 - ◆ 東京支店 〒113-0022 東京都文京区千駄木3-46-2
 - ◆ 名古屋支店 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-4-11日新火災名古屋ビル
〈中津川営業所〉 〒508-0043 岐阜県中津川市中津川八幡町5-20サンビレッジ中津川206号
 - ◆ 大阪支店 〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1-6-6 カーニープレイス西本町
- 《設立年月日》 創 業 : 1984年 2月 1日
- 《資本金》 9,500万円
- 《事業内容》 総合設備工事業
・許可番号:建設業(管工事業)
国土交通大臣許可(特-27)10783号 管工事業
国土交通大臣許可(般-27)10783号 消防施設工事業・電気工事業
- 《環境管理責任者》 氏名:竹内 等
- 《連絡担当者》 EA21事務局
氏名:金谷 雅和
TEL:03-5814-1240
E-mail: m-kanaya@rec-s.co.jp
- 《事業の規模》
- ◆年間工事高(2017年12月期) 3,815,000千円(全社)
 - ◆工事件数(2017年12月期) 1,514件(全社)
 - ◆事務所(本社・3支店・1営業所)(2017年12月31日現在) 1,072.19㎡(全社)
 - ◆倉庫(東京支店,名古屋支店)(2017年12月31日現在) 61.29㎡(2店)
 - ◆全従業員(2017年12月31日現在) 95名(全社)

2. 認証・登録の範囲

- 《登録組織名》 株式会社 REC
- 《登録の範囲》 全組織・全活動・全従業員

3. 体制図及び認証登録範囲図

《体制図》



(認証登録範囲)

《責任と役割及び権限》

| 担当者 | 責任と役割及び権限 |
|-----------------|---|
| 代表取締役 有明芳男 | <ul style="list-style-type: none"> ● 環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ● 経営資源の準備 ● 全体評価と見直しを実施 ● 環境活動レポートの承認 |
| 環境管理責任者 竹内等 | <ul style="list-style-type: none"> ● 環境経営システムの構築・実施・管理 ● 法規制等の取りまとめ ● 環境活動レポートの確認 ● 環境活動取組に結果を代表者へ報告 |
| EA21事務局 金谷雅和 | <ul style="list-style-type: none"> ● 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ● 環境活動レポートの作成 ● 計画書・手順書作成及び管理 ● 環境活動レポートの作成・公開(事務局に備付けと地域事務局への送付) |
| 各店責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ● 環境管理責任者への支援 ● 環境活動計画表への定期的な評価・指示 ● 環境教育訓練の作成・実施 ● 環境教育訓練計画書・手順書の作成及び管理 |
| 推進委員 | <ul style="list-style-type: none"> ● 計画書・手順書作成及び管理 ● 環境方針への理解と取組みへの自覚 ● 従業員に対する環境教育訓練の実施 ● 問題点の発見・是正・予防処置 |
| 全従業員 | <ul style="list-style-type: none"> ● 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ● 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 |

4. 環境目標とその実績(全 店)

(表-1)

| | | 基準年度 | 短期目標 | 中長期目標 |
|-------------------------|----------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| | | 2015年1月～ 2015年12月 | 2017年1月～ 2017年12月 | 2018年1月～ 2018年12月 |
| 電力使用量削減 | Kwh | 150,524 | 148,346 | 147,514 |
| | | 100% | 98.6 % | 98.0 % |
| 燃料使用量削減 (ガソリン・軽油) | ℓ | 23,094 | 22,632 | 22,517 |
| | | 100% | 98.0 % | 97.5 % |
| 廃棄物排出量の削減 (一般+産業廃棄物) | kg | 82,394 | 81,269 | 80,746 |
| | | 100% | 98.6 % | 98.0 % |
| 総排水量削減 | m ³ | 572 | 570 | 566 |
| | | 100% | 99.7 % | 99.0 % |
| グリーン購入 | % | 46.0% | 47.0% | 48.0% |
| | | 100% | 102 % | 104 % |
| 環境を配慮した 施工方法の提案 | 件 | 73 | 82 | 87 |
| | | 100% | 112 % | 119 % |

※化学物質については使用していない為除外と致します。

※二酸化炭素排出量の目標と実績 (単位:kg-co₂)

(表-2)

| | | 基準年度 | 短期目標 | 中長期目標 |
|------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| | | 2015年1月～ 2015年12月 | 2017年1月～ 2017年12月 | 2018年1月～ 2018年12月 |
| 二酸化炭素排出量削減 | | 130,082 | 127,901 | 127,213 |
| | | 100% | 98.3 % | 97.8 % |
| | 電力使用量削減 | 76,466 | 75,356 | 74,937 |
| | | 100% | 98.5 % | 98.0 % |
| | 燃料使用量削減 (ガソリン・軽油) | 53,616 | 52,545 | 52,276 |
| | | 100% | 98.0 % | 97.5 % |

(注) 購入電力の排出係数は、国が公表する電気事業者毎の排出係数

2014年度実績値(2015年11月30日公表)

| 店 名 | 排出係数 | 電気事業者名 |
|-----------|-------------------------|----------|
| 本 社 | 0.505kg-CO ₂ | 東京電力株式会社 |
| 東 京 支 店 | 〃 | 東京電力株式会社 |
| 名 古 屋 支 店 | 0.497kg-CO ₂ | 中部電力株式会社 |
| 大 阪 支 店 | 0.531kg-CO ₂ | 関西電力株式会社 |

5. 期間1年間の目標及び取組結果の評価(全 店)

①環境目標及びその達成状況(期間:2017年1月1日～12月31日)

(表-1)

| | 単位 | 基準値 | 目標 | 実績 | 要因と評価 |
|-------------------------|----------------|------------------|-------------------|-------------------|---|
| | | 2015年 | 2017年 | 2017年 | |
| | | 1月1日～12月31日 | 1月1日～12月31日 | 1月1日～12月31日 | |
| 電力使用量削減 | Kwh | 150,524 100 % | 148,346 98.6 % | 138,480 92.0 % | 年々節電意識が高まり、不要な電灯の消灯活動(昼食時)定着して来た。本社を除き各店とも夜間、休日工事が増加する中、目標値より大幅に削減出来たのはエコに対する意識向上の現れと評価したい。今後とも継続削減に努力する。 |
| 燃料使用量削減 (ガソリン) | ℓ | 23,094 100 % | 22,632 98.0 % | 19,735 85 % | 名古屋支店にて車更新にハイブリット車を採用した。遠距離に採用した為に大幅削減に結び着いた。今後もハイブリット車採用を検討する。また、公共交通機関の利用も定着して来た。 |
| 廃棄物排出量の削減 (一般+産業廃棄物) | kg | 82,394 100 % | 81,269 98.6 % | 79,058 96 % | 完成工事量が10%程増加し、元請工事も30%程であり、元請工事量増加に伴い、産業廃棄物も増加傾向にある。コンボ材については、メーカー持帰りを契約時に実施している。一般ゴミについては、書類等の処理にシュレッター活用を為に各店とも増加傾向にある。今後とも、分別、再利用、コンボ材の省力化は引き続き実施して行き排出量削減に努力して行く。 |
| 総排水量削減 | m ³ | 572 100 % | 570 99.7 % | 610 107 % | 節水コマの組入による効果が出てきているが、社員の増加、夏場の外部、樹木の散水等の影響も増加要因である。今後とも節水努力を継続する。 |
| グリーン購入 | % | 46% 100 % | 47% 102 % | 56% 122 % | 事務用品に対するグリーン商品意識が向上して来ている。また、2月に社名変更した事で封筒、名刺等を変更し大量に購入した影響が顕著に出ている。さらに意識の向上、購入の拡充も推進して行く。 |
| 環境を配慮した 施工方法の提案 | 件 | 73 100 % | 82 112 % | 71 97 % | 施工検討会での提案案件である。タイムリーに実施して行く様指導して行く。エコ企業として顧客に対して積極的に提案し、取組ん行く。 |

※要因欄：良い点(推進) 悪い点(改善)

※期間における二酸化炭素排出量の目標と実績(単位:kg-CO2)

| | | 基準値 | 目標 | 実績 | 要因と評価 |
|----------------------|--|------------------|-------------------|-----------------|--|
| | | 2015年 | 2017年 | 2017年 | |
| | | 1月1日～12月31日 | 1月1日～12月31日 | 1月1日～12月31日 | |
| 二酸化炭素排出量削減 | | 130,082 100 % | 127,901 98.3 % | 116,202 89 % | 名古屋支店でのハイブリット車購入が大きな削減要因になっている。会社としても検討する価値がある。また、公共交通機関の利用が定着して来ている。次年度も継続的に推進して行く。 |
| 電力使用量削減 | | 76,466 100 % | 75,356 98.5 % | 70,385 92 % | 各店ともに節電効果が出て来ている。夜間、休日作業が増加傾向であるが必要の無いところは消灯を徹底している。今後とも削減努力を継続して行く。 |
| 燃料使用量削減 (ガソリン・軽油) | | 53,616 100 % | 52,545 98.0 % | 45,817 85 % | 車の全体台数は変わらないがハイブリット車を遠距離に採用したところ大幅な削減に繋がった。また、公共交通機関の利用が定着化して来ている。継続的に削減努力を継続する。 |

(注)購入電力の排出係数は、国が公表する電気事業者毎の排出係数

2014年度実績(2015年11月30日公表)

| 店名 | 排出係数 | 電気事業者名 |
|-------|-------------|----------|
| 本社 | 0.505kg-CO2 | 東京電力株式会社 |
| 東京支店 | 〃 | 東京電力株式会社 |
| 名古屋支店 | 0.497kg-CO2 | 中部電力株式会社 |
| 大阪支店 | 0.531kg-CO2 | 関西電力株式会社 |

②環境活動計画の取組結果とその評価・次年度の取組内容

(表-3)

| 環境活動計画 | 取組結果と評価 | 次年度の取組内容 |
|---|---|------------------------------|
| 二酸化炭素排出量削減(電気) | | |
| ① 昼休みの消灯 ② エアコンの適正温度(冷房:28℃ 暖房:20℃) ③ クールビズ運動 ④ OA機器の節電モード ⑤ 温水洗浄便座の温度設定 | ・継続し節電効果が出ている。 ・室温管理は実施中。 ・クールビズは、5月～10月末まで実施。 ・節電モードを継続中。 ・低温設定を継続中。 | 継続して実施する。 |
| 二酸化炭素排出量削減(ガソリン) | | |
| ① 公共交通機関を積極的に利用 ② 不要なアイドリングをしない ③ 遠距離以外は給油は1/2とする。 ④ 定期的な車両の点検 ⑤ 不要な荷物は積まない | ・公共交通機関を利用する様徹底した。 ・エコドライブを実施中。 ・走行距離を伸ばす。 ・定期的に整備を実施した。 ・不要な荷物を降ろす様実施した。 | 継続して実施する。 (車の必要数を再検討する。) |
| 総排水量の削減 | | |
| ① 手洗い時の節水 ② 締め忘れ防止 ③ 節水ゴマの設置 | ・配管、衛生機器の定期点検を実施する。 ・節水効果が現れ、水量減少した。 | 継続して実施する。 |
| 廃棄物排出量の削減(一般) | | |
| ① 竣工図書のデジタル化 ② 両面コピーの励行 ③ コピー用紙の片面印刷物の再利用 ④ コピー機は使用後は節電モードにする | ・100%実施を目指す ・励行継続中 ・励行継続中 ・節電モードに切り換える | |
| 廃棄物排出量の削減(産業) | | |
| ① 保存書類を契約倉庫に委託する ② 元請工事での分別、再利用、再資源の推進 ③ 建設産業廃棄物の適正処理 | ・期限を決め、溶解処理をする ・リサイクルを推進する ・更なる分別搬出の推進 | 継続して実施する。 (分別収集の実施を怠らない。) |
| グリーン購入 | | |
| ① 物品を購入する前に必要性を検討 ② 環境に配慮した物品(事務用品) | ・不要な品物は購入しないよう吟味する。 ・発注時の商品選定において可能な限りグリーン商品に移行する。 | 継続して実施する。 |
| 環境を配慮した施工方法の提案 | | |
| ① 施工検討会の実施 ② 技術発表会にて改善事例報告 | ・検討会にて提案事項を報告。 ・技術発表会にて周知した。 | 継続して実施する。 |

③期間における全体評価

「評価内容」

5年を経過しました。エコアクション21取組も定着し、会社の中に溶け込んできています。REC環境ニュースも2ヶ月に一度の割合で発行され、支店内の環境方針項目で目標値と実績値を解り易く表示し、年一度開催されます技術・改善発表会にてエコアクションの活動状況の説明並びに『環境に配慮した施工提案』について各店の提案件数等が数値化表示されています。また、提案概要も大幅に増え提案する事が企業のプラスになる様、良い方向に改善されて来ています。内部監査についても年4回開催し、少しずつではありますが定着しています。今後ともマンネリ化にならぬ様に新しい課題を見つけ前進して行く所存です。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

(表-1)

| 法規制等の名称 | 要求事項 | 遵守状況 |
|------------------|--|------|
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | <ul style="list-style-type: none"> ・委託業者の委託契約書及び業者の許可内容が適正である事の確認及び許可証の写し保管 ・最終廃棄物の削減 ・マニフェスト票による管理 | 適正処理 |
| 労働安全衛生法 | <ul style="list-style-type: none"> ・各種作業に係わる技能講習の取得 (玉掛け技能講習・ガス溶接技能講習・酸素欠乏危険作業主任者技能講習等) | 適正処理 |

《違反・訴訟等の有無》

環境関連法規への違反・訴訟はありませんでした。

また、過去3年間にわたり、関係機関からの違反指摘等はありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

EA21取組も5年経過し移転、増床等があり基準値が中々定まりませんでしたが、基準値が固定化され取組も会社の中に溶け込んできました。どこの支店でも昼休みの消灯、必要の無いところの消灯、パソコンの節電等がなされ電力使用量の削減に寄与しています。また、名古屋支店にて車更新においてハイブリッド車を購入した結果、二酸化炭素排出量、燃料使用量で大きく削減出来た為、今後車更新時検討する価値があると一石を投じました。受注に際しては、下請より元請受注する様指導しています。若干ですが元請工事が増える傾向にあり、その為に産業廃棄物排出量が増大傾向にあるので、分別・再利用・梱包材の廃材持帰りを徹底します。水道使用量については、節水コマを既に組み込み済みで漏水等の定期的点検を忘れずに確認します。社員にグリーン商品意識が向上し、本年2月に社名変更した事で封書、名刺等の変更で大量購入した結果が顕著に表れました。『環境に配慮した施工方法の提案』については、エコ企業であるので施工検討会を100%実施、また、タイムリーに行い、顧客に対する提案についてもしっかりと取組んでいく所存です。